

未来館フェスティバル 2019

～誰にでも輝ける場所がきっとある自分色のメダルをめざして～

月日：2019年9月7日（土）9時半～15時半：午前中49か所の内17カ所見学

場所：福島県男女共生センター「女と男の未来館」（二本松）

参加者：山崎捷子・松嶋加代子・大山享子・遠藤はるえ

県民参加企画：各種・体験・展示・フードコーナー

- ・今年、体験型ケースが増えており、とても楽しく参加する事ができた。
- ・介護に関する物・両面に平行棒があり低い階段になっている物。
- ・右手が思うように使えないので、どんな箸があるのか？何客か見せて頂く。
- ・電動車椅子の体験。ポータブルトイレを使うときに臭いがいつまでもしないようにオガを使いゴミと一緒に処分できる。・絵手紙の体験。・ピザ作り体験。
- ・毛細血管血流観察等々

いわき市における医療の現状と未来

～市民500人へアンケートから見えるもの～

（山崎さんが、参加している国際女性教育振興会福島県支部いわき市の講演会に参加）

いわき市人口343,253人アンケート調査513名回収496枚（回収率96.7%）

1.性別：男性148人（30%）女性348人（70%）

年代別：60代（114）50代（95）40代（84）

2.あなたと医療機関との係りについて伺う？

震災後医療施設に行きましたか？「はい」404人（81％）に聞きました。

受付から会計まで要した時間：60～120分143人 120～180分105人

30～60分88人

待ち時間：受付から会計まで 仕方がない190人（48％）

長すぎる147人（37％）気にならなかった54人（14％）

受付から会計までの時間の感じ方 1～2時間以内：仕方がない78 長すぎる45

気にならない5 無回答20 （148人）

3時間以内：仕方がない34 長すぎる61 気にならない1 無回答9 （105人）

1時間以内：仕方がない54 気にならない18 長すぎる9 無回答7 （88人）

受付から会計までの時間の感じ方 2

2時間以内：仕方がない64 長すぎる34 無回答6 気にならない4（108人）

3時間以内：長すぎる50 仕方がない31 気にならない1 無回答1（83人）

1時間以内：仕方がない48 気にならない18 長すぎる6 無回答1（73人）

・「かかりつけ医制度」を知っていますか？

知っている：249人（60％） 知らない151人（36％）

「かかりつけ医」の有無：持っている211人（51％）

持っていない189人（45％） 無回答16人（4％）

他医療施設への紹介：ない231人（57％） ある166人（41％）

無回答7人（2％）

いわき市以外の医療機関紹介の有無：ない350人（87%） ある52人（13%）

無回答 2人（0%）

「いいえ」と回答された方92人に伺います。医療施設を訪れなかった理由は？

病気に罹らなかった55 受けない診療科がない9 売薬で済ませた9

3.救急車の搬送時間についてお尋ねします。

震災後、あなた自身、家族や知人の病気や怪我で救急車を呼びましたか？

いいえ341人（69%） はい143人（29%） 無回答12人（2%）

救急車を呼んでから受け入れ先の医療施設に着くまでに要した時間？

1時間以内63 30分以内46 2時間28 3時間5

救急車を呼ばなかった理由。

病気に罹らなかった201 呼ぶほどの症状ではないと思った89

判断に迷った30 無回答24 その他5 断られたことがある1

4.医療満足度についてお尋ねします。

お住いの地域の医療施設について

医療施設はあるので不満はない194 医療施設が少なく不安を感じる97

救急の医療体制が十分でない97 医療施設はあるが、受けない診療科がない78

5.いわきの医療の未来についてお尋ねします。

今後充実してもらいたい医療機能は何か？

がん医療 247 救急医療 244 脳疾患医療 182 産婦人科 179 心疾患医療 157

高齢者医療 133 高精度放射線治療 102

まとめ

1.3時間以上の待ち時間でも「気にならない」と回答した人がいた。

2.約半数が「かかりつけ医を持っている。」

3.救急車を呼んでから搬送先の受け入れまでに要した時間は「30分から1時間」が多かった。

4.救急車を呼ばなかった理由「呼ぶほどの症状ではなかった。」・「判断に迷った。」が3割ほど見られた。

5.充実して欲しいのは、「がん医療」・「救急医療」などを希望していた。

・いわき市における医療の現状と未来を聴講して、病院の長い待ち時間だとイライラしてしまい身体面に状態悪化が見られる事がある。そのことを考えると、かかりつけ医を決めると、大きな病院より時間の短縮し、本人への対応も早い。

・緊急時、救急車を呼ばないで死亡につながることもある。緊急時の見極めが難しい。また逆に、タクシー代わりに使われる事も多くあるので、その点は、各自が救急車をどのように使うかを考えて、対応して欲しいと思う。

・病院について、再確認する事ができた。

・今後充実して欲しいのは、2人に1人が癌になると言われている昨今、「がん医療」と「救急医療」を、誰もが望んでいる事が理解できた。

シンボルイベント：13：00～15：00

山口香さん講演会「成りたい自分になる生き方

～スポーツから学んだ大切なこと～

～誰にでも輝ける場所がきっとある自分色のメダルをめざして～

山口香さんは、3年程前埼玉の嵐山で講演会を聞いた。益々講演が上手になっていた。

福島県の3.11は、8年半過ぎたが、まだ立ち上がれない人がいるのを、心に刻んでいる。

柔道は、男性のスポーツであったが小1年の時、柔道物の姿三四郎があり「これだ。」と思い入会した。道場の先生には、「柔道には女性がいない。辞めたら。」と断られた。1970年代は、スポーツにおいても、社会に置いても「女性は～あるべき。」と固定概念が強かった。幼少時、女性は成長が早い。女も男と同じく対応した。負けた男が、辞めていった。活発で、小学生だが強かった。13歳で優勝すると両親・道場の先生・友達も認めてくれた。「ハイカラさん・やんちゃ」だった。

オリンピック第1回アテネ（1896年）女性出場者はいなかった。女性の役割は、男性の勝者に冠を捧げることだった。

1904年の東京朝日新聞には、女性のスポーツが発達すると、女らしさが失われ品位が下げるのでは、ないか？と書かれていた。

オリンピック第9回アムステルダム（1928年）

人見絹枝さん 陸上800m 銀メダル オリンピックに女性の参加が認められた。

女性スポーツの歴史は、女性への偏見やジェンダーバイアス、女性解放の歴史でもあり闘いでもあった。このことは遠い昔の話ではなく、今でも女性アスリートへの偏見報道があったり、環境については十分ではなく、スポーツは社会の縮図である。女性であっても「やりたいこと」ができるように挑戦の機会を得られる社会をつくっていきたいと強く思う。

ロンドンオリンピック 26 競技全てに女性が参画。参加した 204 の国と地域が女性選手を派遣。

リオ五輪選手団（日本選手団）男性 174 人女性 164 人

メダル数 41 個 男 23 個 女 18 個 金メダル男 5 個 女 7 個と増えていった。

<女性スポーツが目指すもの>

道を開いてくれた先人の思いを受け継ぎ、その道をさらに広げ伸ばして行く使命がある。

女性であっても「やりたいこと」ができるように挑戦の機会を得られる社会を作っていきたいと強く思う。（環境を整える）

1980 年代は、「女子柔道への強化費は、金を溝に捨てるようなものだ」と言われた時代があった。女子柔道が弱かった。

リオ五輪では、女子選手 49% 男子 51% 出場選手は、ほぼ同じになる。

だが、指導者審判は女性が少ない。長い時間の中で刷り込まれてきたジェンダーバイアスを取り除いて行く事は簡単ではない。

女性スポーツの道が開かれて来たのは、ここ 10 数年である。

私の生き方・考え方・影響を受けた人・言葉があった。

<柔道から学んだこと>

- ・スポーツは自己表現。自ら行動しなければ結果は出ない。
- ・待っていても勝てない。結果を出すためには自分がアクションを起こす。
- ・「お前の生き方が次に続く者の道となる」選択する時に後に続く選手のことを考える。
- ・大学時代の恩師の言葉、自分の影響力を意識する。
- ・頼まれたら可能性がゼロでない限り no と言わない。
- ・苦手なことこそ引き受ける。下手な絵でもたくさん描けば上手くなる。

・発言は、躊躇しない。自分の意見、行動基準を明確にしておく。

何故、男女共同参画なのか？

男女には様々な違いがある。

<買い物ズボン>

男：6分 ¥4.000円 女：3時間26分 ¥86.000円

女性出産、生理的に違いがある。男性と女性とは様々な面で違いがある。

男性は、女性と同じように行動することは無理。

違いに価値観を見出し、違いを尊重する。相手を理解する心。

<チームワークとは>

違うバック・グラウンドであったり、違う考えや価値観を持った人達が目標に向かって力を合わせる。

一人一人が力をつけて、個々の能力が様々な場面で発揮される事が大切。

<生意気ですが何か？>

初めから、生意気だった訳ではない。男ばかりの柔道界では、発言しなければ気付いて貰えなかった。「出る杭は打たれる。出すぎた杭は打たれない。」

「継続は力なり」「意志あれば道あり」

講演会を終えて、山口香さん公演は、以前にも聞いたが公演が益々上手になっていた。2人の方は山口香さんを会津若松に「呼びたい」と言っていたが、思案中。

2020年は、オリンピックがあるので、現在引っ張りだこかな？

機会があれば、来年も参加したいと思います。有難うございました。

「未来館フェスティバル2019」への参加事業報告

収支決算書

収入の部

項目	決算額	備考
自己負担金	5,200	
会津若松市補助金	5,200	※4人分 ※対象経費の1/2(上限ひとり5,000円)
合計	10,400	

支出の部

項目	決算額	備考
交通費(往復)		会津若松～二本松(往復)
乗車券(高速バス)	10,400	2,600円×4名
	10,400	